

＜ 芸 術 ＞科 学 習シラバス

科 目	音楽 I	学年・類型	1 年生	単位数	2 単位	教科書	MOUSA 1 (教育芸術社)
学習の到達目標		歌唱や器楽、創作の表現活動を通して、基礎的な技能を身に付けるとともに、表現する楽しさを味わう。楽譜についての知識を身に付け、読譜能力、記譜能力の向上を図る。鑑賞の活動を通して様々な音楽や文化に触れることにより、多様な価値観を身に付ける。					
評価の観点	A 関心・意欲・態度	B 音楽表現の創意工夫	C 音楽表現の技能	D 鑑賞の能力			
評価の内容	音楽活動の喜びを味わい、音楽や音楽文化に関心を持ち、音楽表現や鑑賞の学習に主体的に取り組もうとする。	音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、音楽表現を工夫し、表現意図をもっている。	創意工夫を生かした音楽表現をするための技能を身に付け、創造的に表現している。	音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、よさや美しさを創造的に味わって聴いている。			
評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> ・学習活動への参加姿勢や態度 ・予習や復習、課題への取り組み状況 ・ワークシート 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習活動での表現内容 ・実技テスト ・創作活動での作品 ・ワークシート 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習活動での表現内容 ・実技テスト ・創作活動での作品 ・ワークシート 	<ul style="list-style-type: none"> ・小テスト ・ワークシート ・レポート 			
学期	月	単元名・小単元名	学 習 の 指 導 内 容	評 価 の 観 点			
				A	B	C	D
1 学 期	4	正しい発声法を身に付けよう ○校歌 ○Ave Maria ○翼をください	校歌や親しみやす歌唱曲の学習を通して、歌うことの楽しさを味わいながら高校の音楽学習への意欲を養う。また中学校で学習した基本的な歌唱法の復習を行う。	○	○	○	
	5	ボディパーカッションに挑戦しよう ○Plymouth Rock ○ソルフエージュ	リズムの働きにに着目した声や身体による表現活動を行い、音楽におけるリズムの働きを知覚感受し、音楽表現を工夫する。	○	○	○	
	6	表現を工夫してリコーダーを演奏しよう ○c-a-f-f-e-e ○ボレロ ○ザナルカンドにて	音楽をかたちづくっている要素の種類や働きを知る。また音階と旋法の働きの変化が生み出す特質や雰囲気を感じとる。 リズムの働きにに着目した声や身体による表現活動を行い、音楽におけるリズムの働きを知覚感受し、音楽表現を工夫する。	○	○	○	
		西洋音楽の世界 ○動物の謝肉祭 ○ボレロ	音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、文化的・歴史的背景や、作曲家及び演奏者による表現の特徴を理解して鑑賞する。	○			○
7	批評文にチャレンジ	夏休みの課題レポートの事前学習として、資料の調べ方、批評文、解説文の書き方を知り、音楽を文章や言葉で伝える工夫をする。	○			○	
2 学 期	8・9	イタリア歌曲にチャレンジ ○イタリア語入門 ○Caro mio ben	イタリア語の特性を味わい、曲想と歌詞の内容や楽曲の背景とのかかわりを感じ取りながら表情豊かに歌う。	○	○	○	○
	10	西洋音楽の世界 ○交響曲第9番 ○様々なピアノ曲 ○モーツァルトの生涯	音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、文化的・歴史的背景や、作曲家及び演奏者による表現の特徴を理解して鑑賞する。	○			○
		ギターの弾き歌いに挑戦しよう ○木星 ○なごり雪 ○ディ・ドリーム・ビリーバー	ギターの音色や奏法の特徴を生かして演奏する。音色、リズム、旋律、強弱など、音楽を形づくっている要素とそれらの働きを理解し、表現を工夫して演奏する。	○	○	○	○
	12	能や謡に親しもう	謡の発声や歌唱法について学習し、表現を工夫して謡う。	○	○	○	○
3 学 期	1	ミュージカルナンバーを歌おう ○レット・イット・ゴー ○Memory ○Oh Happy Day	曲想と歌詞の内容や楽曲の背景がどのようにかかわっているかを感じ取り、自分なりのイメージをもって表現を工夫する。音楽的な要素とそれ以外の要素がどのようにかかわり合っているかを感じ取る。	○	○	○	○
	2	サンバやジャズに親しもう	リズムや強弱など、サンバやジャズを形づくっている要素及び奏法について理解する。ジャズの文化的・歴史的背景や、演奏者による表現の特徴を理解し、その良さや美しさなどを味わって鑑賞する。	○	○	○	○
	3	世界の諸民族の音楽	それぞれの国や地域の音楽の特徴、曲想と音楽を形づくっている要素とのかかわり、文化的・歴史的背景を理解して鑑賞する。またそれらの音楽の持つ良さについて感想を述べ合う。	○	○	○	○
学習のポイント		楽典の知識をしっかりと身に付け、読譜力、記譜力を鍛える。 ワークシートや創作課題、レポートを確実に仕上げる。 表現活動の際は積極的に活動し、技能を身に付けるだけでなく創意工夫を生かした表現を心がける。					